

祝辞

地球温暖化のためか9月になっても暑い日が続き、秋はどこで足踏みしているかを感じるこの頃です。本日卒業を迎えられました62名、ならびに大学院を修了された4名の皆様、誠におめでとうございます。通信教育課程の同窓会組織である鷹陵同窓会を代表して、皆様のこれまでのご努力に対して敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

皆様は入学を志した日から今日まで、学ぶことの喜び、そして苦しみなど、様々な体験をされてきたことと思います。通信教育で卒業することは容易なことではありません。毎日が自分自身との戦いの場であり、自らが学習計画を立て、自らを律し、自分で自分を励ましながら、今日のよき日をむかえられたことと存じます。今、皆様方の胸中には、様々な思いが去来し、大きな満足感が得られているのではないのでしょうか。

これらの苦難を乗り越えて、ここに晴れの授与式を迎えられ卒業証書や学位記を手にした皆様本当におめでとうございます。卒業は一つの自信につながります。これからも苦しいと思うことが出てくることがあるかも知れませんが、この自信が苦しさを打ち砕く力となると思います。

佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ伝統ある佛教大学の卒業生であることは、私たちにとって大きな誇りであり、本日皆様が手にした卒業証書や学位記は、学業成就の証であるとともに、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆ともなります。

私たち鷹陵同窓会は、昭和32年に第一期生の有志により立ち上げられ、現在、2万3千人以上の同窓会員を擁し、地域を跨いで活動も活発に行われています。

私が所属している愛知支部では、年1回の総会と卒業生による講演会及び懇親会を8月に実施しています。今年も8月31日に22名の参加で開催しました。スクーリングで知りあったり、レポート作成で連絡を取り合った仲間が集まり交流の場となって、先輩、後輩の間に思わぬ人脈が広がり、盛況のうちに終えることができました。卒業されました皆様方には鷹陵同窓会に入会していただき、この活動が長く続くことを期待しております。

最後になりましたが、皆様がますますご健勝でご活躍されますことを祈念し、併せて母校の更なる発展を願って、お祝いの言葉といたします。

令和7年9月28日

佛教大学鷹陵同窓会 副会長 西川 久雄